

JSBBA KANTO

日本農芸化学会 関東支部 2022年度若手発案企画 第20回 微生物研究会「宇宙・極限環境の微生物とその利用」

(世話人: 渡辺智、華岡光正、相馬亜希子、梅野大輔、関貴洋、河村富士夫)

令和4年10月29日

日本農芸化学会関東支部、2022年度の若手発案企画として微生物研究会を千葉大学松戸キャンパスにて開催しました。微生物研究会は関東近郊の微生物研究者による研究交流の場として毎年実施されてきました。本研究会は最先端の研究に触れられるだけでなく、学生の日頃の研究成果を発表する機会として関連分野の発展に貢献してきました。コロナ禍においても一昨年は中止されましたが前回はオンライン開催、そして第20回となる本研究会は3年ぶりの対面形式で開催しました。

本研究会には一般53名、学生129名で、合計182名が参加しました。シンポジウムでは「宇宙・極限環境の微生物とその利用」というテーマで4人の研究者にご講演いただき、微生物研究の未来像について活発な議論が交わされました。また、48演題のポスターセッションも大変盛り上がりました。はじめての対面でのポスター発表という学生がほとんどであり、他の研究グループとの交流、意見交換を通じて、微生物研究の魅力や自身の研究の面白さに改めて気づく学生も多かったように感じました。

プログラム

時間	タイトル	講演者
13:00	はじめに	華岡光正(千葉大学)
13:05	国際宇宙ステーションでの宇宙環境微生物暴露実験	山岸明彦(東京薬科大学)
13:40	陸棲シアノバクテリアが3年宇宙に行って帰ってきました	横谷香織(筑波大学)
14:15	ブレイク・ポスターセッション1	
15:15	極限環境微生物の先端科学をSDGs達成のために社会実装する研究	伊藤政博(東洋大学、BRRPプロジェクトリーダー)
15:50	微細藻類の産業化に向けた取り組み	野村純平(一般社団法人日本微細藻類技術協会)
16:25	ブレイク・ポスターセッション2	
17:30	研究交流会	

(裏面につづく)

JSBBA KANTO

山岸先生のご講演



横谷先生のご講演



伊藤先生のご講演



野村先生のご講演



シンポジウム講演者と世話人



この度は、多数ご参加くださり、盛況のうちに終了することができました。研究会の立案時は先行きも不透明で、一時は開催も危ぶまれましたが、幸いコロナ感染者数が落ち着いていたこともあり、予定通り対面開催で研究会を実施することができました。大学院生をはじめとする若い研究者が、自身の研究成果を口頭発表できる機会がほとんどなくなってしまう現状で、本研究会を開催する意義は大きかったと思います。

末筆ではありますが、発表者ならびに参加者の方々、支部大会の開催、運営にご協力いただきました皆様に深く感謝を申し上げます。